

化学火災に対応

最新鋭の化学ポンプ車
味生出張所に配備



市消防本部は、3月から味生出張所に最新鋭の化学消防ポンプ車を配備しました。

化学消防ポンプ車は、放水機能に加え、多量の泡で消火活動を行うことができ、水では消火できない工場での油火災などの化学火災にも対応できます。

また、水の少ない場所での消火活動も効率的に行うことができる圧縮空気泡消火装置を搭載し、消火活動の放水による水濡れ被害を抑えることも可能です。

放課後に学習支援

SUNSUN 塾を拡充
今年度から5会場に



市教育委員会は、「摂津SUNSUN塾」の会場を、3力所から5力所に拡充しました。同塾は、市内の小学6

年生と中学1年生を対象に、学習塾の講師が算数と数学を無料で教えるものです。拡充により、以前は会場までの距離が遠く、通いづらかった地域の児童生徒も参加しやすくなりました。

受講者を随時募集しています（鳥飼西小学校会場中学1年生は締め切り）。開催日程などは本広報紙22ページで案内しています。

地域と行政のパイプ役

107人に地区振興委員を委嘱
自治連合会は新役員を選出



▲森山一正市長から委嘱状を受ける前田幸夫会長

4月29日、コミュニティプラザで今年度の地区振興委員委嘱式を開催し、市は、自治会長ら107人に同委員を委嘱しました。

また、市内自治会で構成される自治連合会の総会も開催され、今年度の役員が選出されました。

地区振興委員は、地域住民からの要望を市に伝えるたり、市からの情報を



摂津市地区振興委員委嘱式

▲新委員を前に、あいさつする森山市長

住民に広めたりするなど、地域の振興と市民の利便性の向上を図るために、地域と行政をつなぐ役割を担います。

委嘱式では、森山一正市長が代表の前田幸夫会長（新庄屋自治会）に委嘱状を手渡し、「まちづくりを進めるには、自助、共助、公助のバランスが重要。委員の皆さんには、市民と行政との太いパイプ役を担っていただきたい」と激励しました。

その後、市から今年度の主要事業の説明が行われ、委員からは市のまち

30年度自治連合会役員(敬称略)

役職	氏名(自治会)
会長	前田清一郎(千里丘町会)
副会長	松田外喜雄(鶴野東自治会)
	竹田 俊治(三島南部自治会)
	倉本 康史(別府新町自治会)
	三宅 利昭(新生自治会)
	溝口 重雄(鳥飼下自治会)
会計	茗荷 充幸(乙辻自治会)
会計監査	村澤 敏雄(三島自治会)
	長谷川文男(上一津屋自治会)
理事	高田 繁夫(市場自治会)
	北本 範雄(太中自治会)
	鈴木 孝夫(桜町自治会)
	池上 隆男(正音寺町会)
	前田 幸夫(新庄屋自治会)
	白川 信治(安威川町会)
	濱口 吉弘(別府自治会)
	宮田ヒロエ(一津屋自治会)
	吉田 政和(鳥飼八防自治会)
	中石 迪彦(鳥飼西睦自治会)
	福留 正彦(マンハイム淀川公園自治会)
	中西 貴(鳥飼中旭自治会)



▲あいさつする前田清一郎会長

づくりのテーマである人間基礎教育や、小中学校での学力向上の取り組みなどについての質問や要望が出されました。

前田会長があいさつ「つながりのまちのアップールを」

自治連合会総会では、今年度の役員が選出されました(右下表)。昨年度に続き、自治連合会会長に選出された千里丘町会・前田清一郎会長から、

「市内の世帯数は増えているが、自治会の加入世帯は減っている。つながりのまち摂津をアップールし、活動を推進していくことが重要」とのあいさつがありました。

自治会は、住民が自主的につくる団体です。住民のつながりを深め、地域の課題解決に取り組むなど、さまざまな活動を通して、住み良いまちをつくっていく組織です。

また、自治連合会は、多くの人に自治会活動を知ってもらおうと、各自治会活動の情報交換をする研修会や、市長との懇談会、自治会活動パネル展などの取り組みを行っています。

もくじ

- 4~5 【特集】 阪急京都線の高架化が始動
- 6~9 【特集】 地球温暖化の「緩和策」「適応策」
- 10~11 【特集】 地域ので花いっぱい
- 12~30
 - お知らせ/募集 (12~14)
 - 相談 (15)
 - 健康 (16~17)
 - 公民館・コミセン (18~19)
 - スポーツ・文化 (19~20)
 - 図書館 (21)
 - 児童センター、男女共同参画センター、教育、その他 (22~23)
 - 福祉 (24)
 - 産業振興 (25)
 - 子育て (26~27)
 - 地域/市民活動 (28~29)
 - ごみ・資源 (30)

※表紙の写真は、産業道路踏切の渋滞